

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】					社会基盤デザイン学士教育プログラム			
URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
	自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	(A)多面的理解:物事を多面的に考えられるための人文・社会科学の素養	○	○	○	○	○		
	(A)多面的理解には、社会における諸問題に対して、自ら情報を取得[自律性][情報リテラシー]し、様々な立場の考え方や地域特性を踏まえて問題を多角的に認識するための素養[社会性][地域・国際性][コミュニケーション・スキル]が含まれている。							
	(B)技術者倫理:亜熱帯島嶼地域の自然・社会環境を理解するとともに、社会基盤デザインの実社会に対する影響や効果を理解し、技術者としての社会的責任(技術者倫理)を考える素養	○	○	○				
	(B)技術者倫理には、技術者としての社会的責任[社会性]、社会基盤施設整備の地域・国際社会への貢献と影響[地域・国際性]を考える素養を自ら身に付ける[自律性]が含まれている。							
	(C)基礎能力:実社会で直面する様々な問題に対応するため、社会基盤デザインの基礎となる数学・自然科学及び情報処理に関する知識とその応用能力	○				○		
	(C)基礎能力には、自然科学・情報科学に関する知識と能力[情報リテラシー]を自ら身に付ける[自律性]が含まれている。							
	(D)専門技術:社会基盤デザインの主要専門分野である社会システム計画学、水圏環境工学、地盤環境工学、構造設計工学、建設材料学の基礎及び応用能力と継続的な自己学習能力	○						○
	(D)専門技術には、社会基盤デザインに関する専門技術[専門性]を自ら身に付ける[自律性]が含まれている。							
	(E)デザイン能力:社会の要求を解決するために、社会基盤デザインの専門技術や情報処理技術を利用し、個人・チームでデザインする能力	○			○	○	○	○
	(E)デザイン能力には、専門技術[専門性]と各種情報[情報リテラシー]を活用し、社会における諸課題の解決のために[問題解決能力]、チームとして考え[コミュニケーションスキル]る能力を見ずから身に付ける[自律性]が含まれている。							
(F)表現力:日本語によって物事を論理的に記述し、プレゼンテーションを行う能力	○			○	○		○	
(F)表現力には、専門技術[専門性]と各種情報[情報リテラシー]を関連付け、物事を論理的にプレゼンテーションする能力[コミュニケーション・スキル]を自ら身に付ける[自律性]が含まれている。								
(G)外国語能力:国際的に活躍するために、英語及びその他の外国語の基礎、コミュニケーション及び情報獲得能力	○		○	○				
(G)外国語能力には、英語をはじめとした外国語[地域・国際性]を利用したコミュニケーション能力[コミュニケーション・スキル]を自ら身に付ける[自律性]が含まれている。								
(H)問題解決能力:与えられた制約の下で、自ら課題を発見し、課題を解決するための研究を計画的に遂行し、その結果をまとめ、チームで仕事をするための能力	○			○	○	○	○	
(H)問題解決能力には、専門技術[専門性]と情報技術[情報リテラシー]を活用し、自ら課題を発見し解決するための能力[自律性][問題解決力]を身に付けることが含まれている。								